



第 190 号

令和4年3月1日発行

〔発行所〕

山鼻町内会連合会

中央区山鼻会館内 511-6371

発行者 会長 阿部貞夫

コロナ禍のなかでの地域活動 — 憂慮される災害時の対応 —

山鼻町内会連合会会長 阿部 貞夫

新型コロナウイルス感染者が最初に道内で発生したのは、2020年1月28日です。さらに、同年2月3日、クルーズ船Dプリンセスで集団発生しました。それ以来、満2年を経過し、未だに収束せず、現在第6波の猛威の中にあり、さらに非常に感染力の強い変異株オミクロンの脅威に曝されています。この2年間は本当に感染防止に終始させられましたが、これで終わりではなく、まだまだ続くと思わざるを得ません。

この間、地域の諸活動は閉塞感とともに、停滞せざるを得ず、従来のような活動が制限されてきました。新型コロナウイルスは飛沫感染だと言われ、人と接しなければ感染しないと言われています。感染防止のための「三密防止」も究極は人に会わない、いわば「ステイホーム」の徹底です。

地域活動の根源は人との付き合いです。人々との付き合いから、「つながり」が広がり、それが長年にわたり強い「絆」として地域に根ざしているのです。このようなコロナ禍の中で、特に憂慮されるのが、万が一のときの「災害対策」です。災害時の救助の一番手は近隣の人々との「共助」です。地域のつながりが希薄になっているとしたら、今こそ、ここで地域の「絆」を確かなものにしたいものです。

令和3年度 札幌市中央区連合町内会連絡協議会 行政懇談会

12月7日に『札幌市中央区連合町内会連絡協議会行政懇談会』が開催されました。

第1部では、中央区連合町内会連絡協議会会長に今年度就任した山鼻町内会連合会会長が会の進行役を務め、中央区役所・保健センターの仮庁舎への移転や令和4年度の民生委員・児童委員の一斉改選などについて行政から説明を受けました。また、第2部では、新型コロナウイルス感染症、(仮称)札幌市町内会に関する条例、2030年冬季オリパラ招致について、秋元市長と意見交換を行いました。



社会福祉部**コロナ禍の中でも福祉活動が途切れないように**

少子高齢化が進む中、だれもが安心して暮らせるまちづくりを目指して、山鼻地区福祉のまち推進センターの事業に協力し、コロナ禍の中でも福祉活動が途切れないよう、福祉全般の向上に努めました。

12月10日、2年ぶりに「福まち町内会役員研修会」を開催しました。北海道防災士協会 防災士 金子 哲俊さんを講師にお招きし、『地区防災計画をつくって災害に備えよう』をテーマに講話をしていただきました。冬の防災への備えの大切さや、地域防災力を高めるための地区防災計画について学びました。

**総務部****2年続けての総会書面開催と新年交礼会の中止**

昨年度、初めて総会が書面開催となりました。今年度は集まって開催したいと思ひ、皆さんが安心して参加できるようホテルの広い会場を押さえておりましたが、新型コロナウイルス感染症の感染状況が想定以上に悪く、断念せざるを得なくなりました。結果として、2年連続の総会書面開催となりましたが、今年度もすべての議案について過半数の賛成をもって可決することができ、皆さまのご協力にあらためて感謝申し上げます。

恒例の新年会も、開催可否について協議を進めるにあたって様々な意見がありましたが、感染リスクの高いと言われる飲食を伴うことから、やむを得ず2年連続中止とさせていただきました。

防火部／防犯部**地域全体で、安心・安全なまちづくりを**

12月4日に、各町内会の防火・防犯部長、防火委員、青色回転灯自主防犯パトロール実施者等を対象に、山鼻地区防火・防犯部等合同研修会を2年ぶりに、新型コロナウイルス感染症感染防止対策のため、プリンスホテル国際館パミールを会場に開催しました。

研修では、中央消防署予防課の橋本係長から「火災の恐ろしさとその対策について」、札幌方面南警察署生活安全課の成田係長から「特殊詐欺の被害防止について」、中央区市民部総務企画課の安井係長から



「山鼻地区における避難所等について」、それぞれ講話をいただきました。火災が起きる瞬間の映像から、電気プラグやコードの正しい使用法を学んだほか、特殊詐欺の巧妙な手口の実例と、「キャッシュカード」「ATM」「暗証番号」という単語が出たら詐欺と疑った方が良いことなどを教えてもらいました。

研修内容で教えていただいた内容も活かしながら、これからも声を掛け合い、地域全体で安心・安全なまちづくりを行っていきましょう。

交通部

交通事故を防ぐためには一人一人の意識が大切

昨年度に引き続き、今年度も、例年行っている「交通安全・防火・防犯・清掃のつどい」「自転車安全利用教室」「秋の交通安全街頭啓発」を中止せざるを得ない状況となりました。

その中でも、11月16日、札幌方面南警察署交通第1課の菊地係長を講師にお招きし、日ごろ交通安全活動に携わる皆さんを対象に、2年ぶりに交通安全講話会を開催しました。

講話では、高齢者が交通事故に遭遇した場合は死亡するリスクが高いことを教えていただきました。

交通事故を防いでいくためには、横断歩道を必ず使ったり反射材を身に付けたりするなど、一人一人が交通事故には遭わないという意識をもって行動することが大切だとあらためて学ぶことができました。



保健衛生部

コロナ禍の中でも地域に根差した保健衛生活動を粛々と

7月2日に令和3年度1回目の保健衛生部長会議を開催し、年間の事業計画や日ごろの活動の中での課題等について情報共有しました。

予定していた事業については、札幌市内における新型コロナウイルス感染症の感染拡大の状況により、関係各部と毎年共同して行っていた「交通安全・防火・防犯・清掃の集い」のほか、例年リサイクル施設などの見学等を行う町連保健衛生部の研修旅行が昨年度に引き続き中止となりましたが、地域住民の疾病予防や環境衛生事業を推進するため、感染予防に留意しつつ、地域に根差した活動を粛々と行いました。



また、山鼻地区では、これまでの活動実績から、中央区クリーン札幌衛生推進協議会より2名が表彰されました。

- ① クリーンさっぽろ衛生推進貢献者として、町連保健衛生部長の松井 靖雄様が、令和3年2月8日に札幌市長表彰を授与されました。
- ② クリーンさっぽろ清掃ボランティア活動実践者として、第13西町内会の細川 修二様が令和3年7月27日に会長表彰を授与されました。(写真)

体育部

コロナに打ち勝つ！ ～少年野球チームを表彰～

新型コロナウイルス感染防止のため、今年度も多くの行事が中止になる中、山鼻地区少年野球チームは、今シーズンを元気で乗り切り、本年度の活動を終わりました。

11月6日には、少年野球チームへ山鼻町内会連合会会長杯の授与が行われ、本年度の山鼻地区少年野球大会リーグ戦の戦績に基づいて、阿部山鼻町内会連合会会長から優勝杯が、本家町連体育部長から参加賞・記念品が贈られました。

表彰式は、各チームの監督、コーチ、選手、父母代表などが参加し、選手の健闘を讃えました。コロナ禍の厳しい状況の中で、選手を支えてくださったご家族や、指導に当たられた監督・コーチの方々に心から敬意を表します。



＜令和3年度の順位＞

〈1位〉ニュースターズ 〈2位〉伏見カーディナルス 〈3位〉幌南ファイターズ

女性部

今年度も「赤い羽根街頭募金」活動に参加しました！

7月20日に女性部部長会議を開催し、令和3年度の活動について協議した結果、新型コロナウイルス感染状況を鑑み、「研修旅行」「中央区みんなの講演会」は中止、「女性部新春の集い」は町連の「新年交礼会」の実施可否に準ずる、「赤い羽根共同募金街頭募金」は感染防止に留意して協力することとしました。



「赤い羽根共同募金街頭募金」については、10月1日、中央区役所前にて、昨年度と同様に、新型コロナウイルス感染拡大予防の観点から、一拠点2名、1時間の活動となりました。当日は、山鼻まちづくりセンター所長が取材に訪れ、前所長や区地域振興課の方々に声掛けし、例年より多くの募金実績となりました。道行く方々からも励ましの声もあり、短い時間でしたが参加できて良かったです。

また、これまでの活動実績を踏まえ、北海道共同募金会から、運動功労者として表彰されました。長年にわたっての女性部の協力に感謝状と記念品が贈呈され、記念品は山鼻会館に寄贈しました。

